

## 54年度呉東モデル地区健康調査報告と考察 (第4報)

厚生連滑川病院 一 柳 兵 蔵

### 緒 言

昭和51年度より引続き富山県農業改良普及所指定に依る呉東モデル地区入善・黒部・魚津上市・立山・大沢野の六地区健康調査を行って居るが54年度調査結果報告と若干の考察を行った。各地区の農業種別は稲作地区大沢野・上市・立山、酪農地区、入善、果樹地区、魚津、養豚地区、黒部であった。

なお、調査成績の詳細は、各項目について表示し、ここにその大要と見解を披瀝することとする。

### 調査成績の総括並びに考察

#### 1. 年令と性別

モデル地区の年令構成は例年40才、50才代が大部分を占め本年は74.8%で調査対象は中年初老期の健康状態が主として示されたことになる。従って成人病が主要疾患として多数みられた理由は年令構成によるものである。

尚男女比は3:7で女性が大多数を占め調査結果は女性に比較的確実性が認められるが、男性の調査結果(対象人員が少数のため)は、適確な結論は認めがたいが、大体の傾向は認められる。(第1表)

性別及び年令別受診状況(第1表)

地区	入 善				上 市				大 沢 野				黒 部				魚 津				立 山				合 計	%
	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%		
20~29才	3	2	5	5																					5	1.9
30~39才	3	12	15	15	6	6	12	17.1	1	2	3	7.4	4	3	7	21.2	1	3	4	11.7	3	5	8	29.6	43	15.9
40~49才	5	36	41	41	2	9	11	31.4	6	12	18	43.9	3	6	9	27.2	3	10	13	38.3	2	3	5	18.6	97	35.9
50~59才	7	29	36	36	3	11	14	40.1	9	9	18	43.9	9	6	15	45.5	9	5	14	41.2	5	3	8	29.6	105	38.9
60~以上	3		3	3	3	1	4	11.4	1	1	2	4.8	1	1	2	6.0	2	1	3	8.8	3	3	6	22.2	20	7.4
計	21	79	100		8	27	35		17	24	41		17	16	33		15	19	34		13	14	27		270	

家族歴調査(第2表)

地区	病名	検査人員	が	脳	心	高	肺	糖	肺	胃腸	く	肝	腎	リ	な
			ん	卒	臓	血	尿	結	病	炎	か	も	臓	臓	ウ
			中	病	圧	核	病	病	指	い	膜	病	病	マ	
入 善	100	(22) 22	(24) 24	(9) 9	(16) 16	(5) 5	(3) 3	(2) 2	(7) 7	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(37) 37	
上 市	35	(25.7) 9	(17.1) 6	(17.1) 6	(45.7) 16	(8.6) 3	(5.7) 2	(8.6) 3	(2.9) 1			(5.7) 2		(28.6) 10	
大沢野	41	(34.1) 14	(17.0) 7	(12.2) 5	(24.4) 10	(9.8) 4	(9.8) 4					(4.9) 2	(4.9) 2	(26.8) 11	
黒 部	33	(51.6) 16	(67.7) 21	(22.6) 7	(22.6) 7	(3.2) 1	(6.5) 2	(9.7) 3	(9.7) 3			(6.5) 2	(3.2) 1	(16.1) 5	
魚 津	34	(41.2) 14	(38.2) 13	(14.7) 5	(20.6) 7	(8.8) 3	(8.8) 3	(8.8) 3	(2.9) 1			(5.9) 2	(2.9) 1	(20.6) 7	
立 山	27	(25.9) 7	(25.9) 7	(22.2) 6	(14.8) 4	(14.8) 4	(7.4) 2	(7.4) 2	(2.9) 1			(2.9) 1	(2.9) 1	(37.0) 10	

## 2. 家族歴調査

脳卒中、ガン、心臓病、高血圧が主要なもので脳卒中は黒部、魚津地区に多いが、本調査に於いても高コレステロール血症は黒部、魚津女に高率を認め、高トリグリセライド血症も黒部女に高率であった。一方大沢野、上市は比較的脳卒中低率で、従って臨海地区高率で山間地区が比較的low率の傾向が認められた。

ガンは同様黒部、魚津に高率で隣接の入善が最も低率なのは前年調査と変わらない。

心臓病は立山、黒部に比較的高率であるが、他地区と著名な差はない。

高血圧は上市に高率であるが脳卒中低率なのは奇異な点である。(第2表)

## 3. 既往症調査

全般的に多いのは消化性潰瘍、高血圧、神経痛、貧血であるが男では入善、黒部、魚津、大沢野に消化性潰瘍が多く即ち臨海地区に多い傾向が認められる。女では神経痛、膀胱炎、貧血が全地区に多い事が認められる。各疾患は何れも生活環境、寒冷、重労働、食習慣と密接な関連性が推測される。

大沢野地区の肝炎とB型肝炎ウイルス保有者が、同一地区に認められる事より、同地区の肝炎はB型肝炎ウイルス性である可能性が

既往症頻度調査 (第3表)

病名	入善		上市		大沢野		黒部		魚津		立山		病名	入善		上市		大沢野		黒部		魚津		立山	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
なし	7	45	3	4	3	6	4	1	5	1	3	4	子宮筋腫		7		2	2	2	2		3			
高血圧		1		3		1	2	2	1	1	1	1	子宮腫瘍					1							
脳卒中		1									1		子宮ポリープ					1							
動脈硬化				1		1							子宮後屈					1				1			
脳内出血						1							卵巣のう腫								1				
心臓病	1	1											卵管手術					1							
狭心症											1		神経痛		5	3	7	1	6	5	1	1	3		2
心臓弁膜											1		リウマチ	1	1										
虫垂炎		3		4	4	2	2	1	1	1	2	1	関節リウマチ				1	1	1				1	1	
胃・十二指腸潰瘍	3	3			6	1	4	2	3		2	3	関節炎	1											
胃炎	1												椎間板ヘルニア	1	1										
痔	2	1			1	1							腰椎移行症					1							
腸閉塞手術								1					指切断	1											
腸捻転								1					骨折					1	2				1		
大腸手術	1												軟骨腫							1					
肝臓病	2				2	1	1	1	1				外傷	1	1			2				1			
胆のう肝臓ゆ着	1												火傷						1						
胆石症	1				1				1				ムチウチ							1					
胆のう炎	2									1			乳腺症								1				
横隔膜ヘルニア					1								神経症							1					
肺炎・気管支炎	1				1	1	1	1	1	1	2	1	前頭洞腫瘍							1					
肺結核	1												糖尿			1		1			1	1		1	
肋膜炎	1	1			1	1	2				1		脚気	1	1			4				3		2	
肋骨カリエス	1												貧血	1	6		7	2	4	1	1	1	7	1	3
気管支ぜんそく	1								2	1			寄生虫					2	2		2	1	1	1	
甲状腺腫	1		2						1				じん麻疹		1	4	2	1	2	4	1	2		1	
声帯ポリープ							1						リウマチ熱								1				
腎臓病				1	2	1		1	1	1		1	白内障									1			2
腎臓結石	1												猩紅熱				1								
膀胱炎			4		4		2		3	1	5		脱肛									1			
子宮癌	1												蓄膿								1	1			

強い。(第3表)

#### 4. 農 夫 症

農夫症症状は肩こり腰痛が男女共に全地区主要症状としてみられその他6症状は比較的  
低率である。この傾向は稲作、酪農、果樹、  
養豚地区の業種別を問わず同様であった。業  
種よりも肉体労働そのものによる症状と思はれる。

その推移は健康管理に関心高きときは明か  
に改善されるが、関心度の低き場合は増加し

ている。男では肩こり、腰痛は入善、魚津が稍  
改善しているが、その他は大した変化はない。

女では肩こり、魚津改善し、腰痛は黒部、  
立山以外は改善している。その他症状の推移  
は増減相半ばする。農夫症(100点未満)のみ  
の発生率は立山最高率であるが、農夫症疑(100  
~139点)の発生率は最低率を示している。

農夫症平均発生率は10.3%で農夫症疑平均  
発生率45.9%である。(第4表)

農夫症症状別発生頻度(第4表)

農夫 病状	地区		入 善		上 市		大 沢 野		黒 部		魚 津		立 山											
	性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女										
	程度	人員	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△										
肩こり	5	8	21	31	1	5	2	13	1	4	7	7	2	7	4	7	1	1	2	6	1	2	5	5
	(61.9)		(65.8)		(75.0)		(55.6)		(29.4)		(58.3)		(52.9)		(68.8)		(13.3)		(42.1)		(23.0)		(71.4)	
腰 痛	4	5	19	31		7	2	13		11	12	4	3	9	2	5	4	3	1	6		6	4	5
	(42.9)		(63.3)		(87.5)		(55.6)		(64.8)		(66.7)		(70.6)		(43.8)		(46.7)		(36.8)		(46.2)		(64.3)	
手足しびれ	2	2	8	28		3	4	11		1	3	4	1	3		5	1	1	2	5	2		1	3
	(19.0)		(45.6)		(37.5)		(55.6)		(5.9)		(29.2)		(23.5)		(31.3)		(13.3)		(36.8)		(15.4)		(28.6)	
夜 尿	1	1	6	12		2	5	2	6	2	6	2	3	1	3	2	5	3	6	5	2	1	4	
	(9.5)		(22.8)		(25.0)		(25.9)		(47.0)		(33.3)		(23.5)		(31.3)		(53.3)		(57.9)		(23.0)		(28.6)	
息 切 れ	1	2		8				5		1	7		1		2					3		2		2
	(14.3)		(10.1)				(18.5)				(33.3)		(5.9)		(12.5)				(15.8)		(15.4)		(14.3)	
不 眠	1	3	1	14		1	4	5	2	1	4	4		1	2	2	2	2	1	3	1	2	1	2
	(19.0)		(19.0)		(12.5)		(33.3)		(17.6)		(33.3)		(5.9)		(25.0)		(26.7)		(21.1)		(23.0)		(21.4)	
め ま い	1	4	5	13		2	1	6		2		4		2	1	2				1	2	1		4
	(23.8)		(22.8)		(25.0)		(25.9)		(11.8)		(16.7)		(11.8)		(18.8)				(15.8)		(7.7)		(28.6)	
腹 は り	1	2	1	13				9		2	3		3	1	5		1		3		3	1	2	
	(14.3)		(17.7)				(33.3)				(20.8)		(17.6)		(37.5)		(6.7)		(15.8)		(23.0)		(21.4)	

農夫症発生頻度(第4表)

地区	区分		計		農 夫 症		農 夫 症 疑		正 常	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入 善	21	79	1	12	9	33	11	34		
	100		13(13.0)		42(42.0)		45(45.0)			
上 市	8	27	0	1	6	19	2	7		
	35		1(2.9)		25(71.4)		9(25.7)			
大 沢 野	17	24	0	4	7	14	10	6		
	41		4(9.8)		21(51.2)		16(39.0)			
黒 部	17	16	1	2	7	7	9	7		
	33		3(9.1)		14(42.4)		16(48.5)			
魚 津	15	19	1	1	5	9	9	9		
	34		2(5.9)		14(41.2)		18(52.9)			
立 山	13	14	1	4	4	4	8	6		
	27		5(18.5)		8(29.6)		14(51.9)			

#### 5. 臨 床 検 査

検尿：蛋白陽性は3.3%に認め高血圧、心肥  
大に伴う事が多い。基礎疾患として腎疾患、  
高血圧、糖尿病がみられる事が多い。

糖尿は2.2%に認めた。

検血調査：農村検診センターの判定基準を用  
いたので前年(53年)と比較出来なかった。  
赤血球減少は男女計3.3%で、大体の比較では  
前年より改善している。前年は5.7%を示し  
ていた。血色素減少は男女計18.5%であるが、  
判定基準で男が高値を基準とせしめたため、前年  
10.5%に略々近いものと判定された。

ヘマトクリフト異常値は異女共皆無であつ  
た。(第5表)

尿及び検血調査 (第5表)

地区	性別	尿蛋白		尿糖性			尿潜血性		赤血球数減少	血色素減少	ヘマトク減少
		±	+	±	+	±	+	±			
入善	男	1	1							4	
	女	1									16
上市	男							1	1		
	女	1				1		1	2		
大沢野	男	1						1	4		
	女					1		2	1		
黒部	男	1	1	1	1			2	5		
	女		1				2	1	5		
魚津	男	2			2	1		1	4		
	女					2	1		2		
立山	男			1					4		
	女			1					2		
計	男	5	2	1	1	3	1		5	22	
	女	1	1	1			5	3	4	28	
総計		6	3						9	50	

高脂血症：高コレステロール血症男8.7%、前年は19%、女10%で前年28%で何れも著明低下している。地区的にみると魚津女、26.3%（前年30%）、黒部女25%（前年30%）が比較的高率であるが、前年より減少している。高トリグリセライド血症男12%（前年9%）、女13.9%（前年10%）で前年より増加しているが、女の肥満傾向と一致している。（第6表）  
肝機能検査：GOT、GPT異常値は、大沢

高脂血症及び腎機能検査 (第6表)

地区	性別	高脂血症		腎機能検査		痛風尿酸高値	リウマチRA陽性	寄生虫虫卵陽性
		コレステロール高値	トリグリセライド高値	尿素窒素高値	クレアチニン高値			
入善	男	3	2	1			2	1
	女	7	9	9	1		4	3
上市	男	1	2	1			1	1
	女		9	2			1	2
大沢野	男	1	4	3			2	1
	女	2	2	2				3
黒部	男	2	1	2			1	1
	女	4	4	4	1	1	1	2
魚津	男	1	2	1				
	女	5	1	1				
立山	男						1	2
	女			1				
計	男	8	11	14			4	5
	女	18	25	19	2	1	6	6
総計		26	36	33	2	1	10	11

肝機能検査 (第7表)

地区	性別	GOT異常値	GPT異常値	アルカリフォスファターゼ高値	コレステロール高値	コレステロール低値	γGTP異常値	チモール異常値	クンケル異常値	LDH異常値	オーストラリア原
入善	男		1		4	1	1	1	2	4	1
	女		1	5	20	11		7	17	10	1
上市	男					2	2				
	女				4	7		2	4	2	
大沢野	男	2	2	1	3	3	3	1	2	1	1
	女	1	1	2	1	8		1	4	1	
黒部	男	1	1	1	3	6	1		1	2	
	女		1	2	2	2	1		1		
魚津	男			1	1	3	3			1	1
	女			1	3	4	1		1	2	
立山	男				2	3	4				
	女					3	3	1		1	
計	男	3	4	3	13	18	14	2	5	8	3
	女	1	3	12	33	35	3	10	28	15	1
総計		4	7	15	46	53	17	12	33	23	4

野、黒部に認められたが、発生数は前年と略同数で増加は認めない。黒部では、前年認めていない。アルカリフォスファターゼ異常値は男3例で前年同様であるが、女12例で前年より著増している。前年は皆無であった。コレステロール低値は男18例女35例で、前年女6例に比し著増している。検討を要すると思われる。

γGTPは男に断然高率で飲酒との関連性が濃厚であった。

B型肝炎ビールス保有者を入善、魚津、大沢野に認められたが、調査をすすめると共に例数及び地区に増加の傾向あるものの、現在の所少数であるが特に疫学的調査の要ありと思う。（第7表）

## 6. 高血圧

男黒部、上市に高率で魚津低率であった。女では立山、魚津比較的高率で、

黒部低率である。

従って黒部男最高率、女最低率、魚津男最低率、女高率と正反対の結果がみられ同一地区の生活環境食習慣よりみて解釈に苦しむ。

全体として男22%、女17.3%で男稍高率なのは前年同様であった。(第8表)

### 7. 胸部レントゲン検査

異常所見認めたもの27.4%で内訳は心肥大、肋膜ゆ着、大動脈硬化、陳旧肺浸潤等であり健康管理上問題点は認めない。(第8表)

### 8. 心電図

異常ありが14.8%で内訳は心筋障害、冠不全、左心肥大、低電位差、陳旧心筋梗塞、期外収縮等で健康管理上配慮すべきである。(第9表)

### 9. 健康診断結果判定

総人員 270名中異常なし37.8%で前年と略  
血圧及び胸部レントゲン検査 (第8表)

地区	性別	胸部レントゲン検査															
		高血圧	異常なし	異常あり	異常あり内訳												
					心肥大	右室肥大	大動脈硬化	陳旧肺浸潤	肋膜ゆ着	助腹肥厚ゆ着	硅肺	肺気腫	慢性気管支炎	左横隔膜麻痺	右横隔膜隆起		
入善	男	3 (14.3)	13 (61.9)	8 (38.1)	2		1	2	2		1						
	女	11 (13.9)	55 (69.6)	24 (30.4)	17		3		1			2	1				
上市	男	3 (37.5)	7 (87.5)	1 (12.5)					1								
	女	5 (18.5)	21 (77.7)	6 (22.3)	4	1									1		
大沢野	男	3 (17.6)	14 (82.4)	3 (17.6)	1		1		1								
	女	5 (20.8)	18 (75.0)	6 (25.0)	5		1										
黒部	男	7 (41.2)	13 (76.5)	4 (23.5)	1		1		2								
	女	2 (12.5)	12 (75.0)	4 (25.0)	3				1								
魚津	男	2 (13.3)	14 (93.3)	1 (6.7)	1												
	女	4 (25.0)	13 (81.3)	6 (28.7)	6												
立山	男	2 (15.4)	6 (46.2)	7 (53.8)	3		2			2							
	女	4 (28.6)	10 (71.4)	4 (28.6)													1
計	男	20 (22.0)	67 (73.6)	24 (26.4)	8		5	2	6	2							
	女	31 (17.3)	129 (72.1)	50 (27.9)	35	1	4		2			2	1	1	1	1	
総計		51 (18.9)	196 (72.6)	74 (27.4)	43	1	9	2	8	2	1	2	1	1	1	1	

同率、要精検査 8.1%で前年より13.6%減少、要注意者28.1%で3.7%増加、要医療者は25.9%で1.5%増加であった。地区別には要医療者、男黒部最高、次に大沢野、魚津、立山、入善、上市の順で女黒部最高、立山、入善、魚津、大沢野、上市の順であった。即ち男黒部、大沢野、魚津の要医療者増加、立山、入善、上市の著明減少がみられた。併しこれは前年と比較するに順位が殆んど逆転している。前年は上市、立山、入善、大沢野、魚津、黒部の順であった。内容をみるに黒部に高血圧の例数増加しているのが主因であった。女では黒部、立山、上市の増加と入善、魚津、大沢野の減少がみられた。前年の順位魚津、大沢野、黒部、入善、立山、上市の順位と比較するに高位の大沢野、魚津が低位となり、低位の立山が高位となり、上市が連続

最低位で黒部が比較的高位がつづいている。黒部女の高位は、貧血と高血圧が主因であった。結局黒部が男女共に増加している。内容をみるに貧血27例、高血圧25例、肝炎7例(大沢野男3名、女1名、黒部男1名、女1名、入善男1名)、冠不全(狭心症)4例、心筋障害3例、期外収縮、陳旧心筋梗塞、糖尿病各々2例等であった。前年と対比して肝炎の増加と高脂血症の著明減少が目立つ点である。

(第10表)

### 結 論

(1) 対象人員270名(男91名、女179名)で、地区は入善、上市、大沢野、黒部、魚津、立山の六地区であった。農村検診センターの新設により受診人員は94名増加している。

心電図検査(第9表)

地区	性別	異常なし	異常あり	異常あり内訳																
				左心肥大	冠不全	心筋障害	陳旧心筋梗塞	陳旧心筋梗塞疑	左脚ブロック	右脚ブロック	不完全右脚ブロック	心室性期外収縮	上室性期外収縮	左冠不全	心房細動	WPW症候群	洞性頻脈	呼吸性不整脈	低電位差	
入善	男	16 (76.2)	5 (23.8)	1		1					1				1					1
	女	69 (87.3)	10 (12.7)	2	2	3						1					1	1		
上市	男	8 (100)	0																	
	女	14 (81.5)	5 (18.5)	1	1	1	1	1												
大沢野	男	21 (82.4)	3 (17.6)			2								1						
	女	21 (87.5)	3 (12.5)				1				1									1
黒部	男	15 (88.2)	2 (11.8)			1									1					
	女	14 (87.5)	2 (12.5)		1	1														
魚津	男	11 (73.3)	4 (26.7)			1	1			1										1
	女	17 (89.5)	2 (10.5)			2														
立山	男	10 (76.9)	3 (23.1)		1						1				1					
	女	13 (92.9)	1 (7.1)							1										
計	男	74 (81.3)	17 (18.7)	1	1	5		1		1	1	1	1	1	1	1				1
	女	156 (87.2)	23 (12.8)	2	4	7	2	1	1		2	2					1	1	1	2
総計		230 (85.2)	40 (14.8)	3	5	12	2	2	1	1	2	3	1	1	1	1	1	1	1	3

(2) 対象人員の年代は40才代、50才代が74.8%で、男女比は3:7であった。

(3) 家族歴調査では脳卒中、ガン、心臓病、高血圧が主要疾患で脳卒中は黒部、魚津に高率で大沢野、上市低率であった。即ち臨海地区に高く、山間地区に比較的低率であった。ガンは黒部、魚津に比較的高率で大沢野、上市、立山、中間位にあり、入善最低位であるのは前年同様であった。

(4) 既往症調査では消化性潰瘍、高血圧、神経痛、貧血が高率にみられ、男では入善、黒部、魚津、大沢野に消化性潰瘍多く、女では

健康診断結果判定(第10表)

地区	性別	異常なし		要精検		要注意		要治療	
		男	女	男	女	男	女	男	女
入善	男	10	24	1	8	7	26	3	21
	女	47.6	30.4	4.8	10.1	33.3	32.9	14.3	26.6
上市	男	1	11		4	6	7	1	5
	女	12.5	40.7		14.8	75.0	25.9	12.5	18.5
大沢野	男	6	14	2	1	4	3	5	6
	女	35.3	58.3	11.8	4.2	23.5	12.5	29.4	25.0
黒部	男	6	5	1		5	3	5	8
	女	35.3	31.3	5.9		29.4	18.8	29.4	50.0
魚津	男	8	7		3	3	4	4	5
	女	53.3	36.8		15.8	20.0	21.1	26.7	26.3
立山	男	2	8	2		7	1	2	5
	女	15.4	57.1	15.4		53.8	7.1	15.4	35.7
計	男	(36.2)	(38.5)	(6.6)	(8.9)	(35.2)	(24.6)	(22.0)	(27.9)
	女	33	69	6	16	32	44	20	50
総計		102(37.8)		22(8.1)		76(28.1)		70(25.9)	

貧血、膀胱炎、神経痛が全地区的に多い。

(5) 農夫症症状は肩こり、腰痛が男女共に全地区的に高率で、他の六症状は比較的低率にみられた。この傾向は農業種別により差異は

認められない。立山は農夫症発生率最高で農夫症疑は最低率であった。

農夫症平均発生率10.3%  
農夫症疑平均発生率は45.9%である。

(6) 臨床検査 蛋白尿 3.3%で前年より減少、糖尿は2.2%であった。

検血では赤血球減少は3.3%で、前年より改善している。血色素減少の18.5%で、男の判定値が高いため前年10.5%に略近いと思われる。へマトクリット異常値は認めなかった。

高脂血症で高コレステロール血症は男女共に減少している。高トリグリセライド血症は男女共に増加している。

肝機能検査でGOT、GPT異常値は大沢野で前年同数認めた。アルカリフォスファターゼで高値及びコリンエステラーゼ低値は増加している。

γGTP高値は男に断然高く、飲酒との関連性濃厚であった。

B型肝炎ビールス保有者は大沢野、入善、魚津に認めた。

(7) 高血圧は男黒部、上市に高率で魚津は低率、女立山、魚津比較的高率で黒部、低率であった。

全体として男22%、女17.3%で男稍多いのは前年同様であった。

(8) 胸部レントゲン検査異常所見発見率27.4

要精検者内容分析 (第11表)

病名	入善		上市		大沢野		黒部		魚津		立山		計
	性別		性別		性別		性別		性別		性別		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
高血圧	1												1(0.4)
W P W 症候群					1								1(0.4)
白血球增多	2										1		3(1.1)
胃かいよう疑	1												1(0.4)
胃炎	1	3											4(1.5)
甲状腺腫		5		2						1			8(3.0)
糖尿							3						3(1.1)
貧血				1									1(0.4)
アルコール性脂肪肝											1		1(0.4)
右横隔膜隆起											1	1	2(0.7)
尿蛋白陽性		2							1				3(0.1)
尿潜血陽性				1						1			2(0.7)
関節リウマチ疑					1								1(0.4)

要注意者内容分析 (第17表)

病名	入善		上市		大沢野		黒部		魚津		立山		計
	性別		性別		性別		性別		性別		性別		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
高血圧	1	7	2	2	2	2	3			2	2	1	24(8.9)
大動脈硬化	1	1			1							1	4(1.5)
陳旧心筋梗塞疑					1								1(0.4)
冠不全疑					1								1(0.4)
心室性期外収縮		1											1(0.4)
上室性期外収縮							2						2(0.7)
僧帽弁膜症											1		1(0.4)
心筋障害		1			1				1				3(1.1)
右脚ブロック	1												1(0.4)
心拡大		1											1(0.4)
心肥大	2	15		2	1		1	1	1	2	2		27(10.0)
陳旧肺浸潤	1												1(0.4)
助膜ゆ着	1												1(0.4)
畦肺	1												1(0.4)
B型肝炎ビールス保有	1	1			1				1				4(1.5)
肝障害疑		4		4		1							9(3.3)
アルコール性脂肪肝			2		2				2	1	2		9(3.3)
高脂血症	2	8	2	5	4	3	1	4	2	4			35(13.0)
肥満		8					1						9(3.3)
十二指腸憩室	1												1(0.4)
腎障害	1												1(0.4)
子宮筋腫	1												1(0.4)
尿潜血陽性										1			1(0.4)
低血圧						1							1(0.4)
ムチウチ後遺症											1		1(0.4)

%で心肥大、助膜ゆ着、大動脈硬化等であった。

(9) 心電図異常発見率14.8%で心筋障害、冠

不全、左心肥大、陳旧心筋梗塞、期外収縮率であった。(10) 健康診断総合判定で、総人員 270名中、異常なし 37.8%、これは前年と同率であった。

要医療者25.9%で、前年より 1.5%増加であった。要医療者の内訳は貧血、高血圧、肝炎、冠不全、心筋障害、期外収縮、陳旧心筋梗塞、糖尿病等であった。

要治療者内容分析 (第13表)

病名	地区		入善		上市		大沢野		黒部		魚津		立山		計
	性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	人員		21	79	8	27	17	24	17	16	15	19	13	14	
高血圧	1	4	1	3	1	3	4	2	1	2			3	25(9.3)	
冠不全	1	1	1										1	4(1.5)	
心筋障害					1		1			1				3(1.1)	
心室性期外収縮						1							1	2(0.7)	
心臓弁膜症疑						1								1(0.4)	
僧帽弁膜症						1								1(0.4)	
陳旧心筋梗塞				1		1								2(0.7)	
左脚ブロック				1										1(0.4)	
心房細動												1		1(0.4)	
高脂血症											1			1(0.4)	
糖尿病										2				2(0.7)	
肝炎	1				3	1	1	1						7(2.6)	
肝障害		1												1(0.4)	
貧血		16		1		2		4		2		2		27(10.0)	
腎不全								1						1(0.4)	
関節リウマチ							1							1(0.4)	